

RJJ19B0832-0100

ルネサスシングルチップ8ビットマイクロコンピュータ  
M38513M4-XXXSP/FP  
マスク化確認書

マスクROM番号	
----------	--

受 付 欄	年 月 日
	課長印 担当者印

(注) 印をすべて記入ください。

貴社 記入欄	貴社名	殿	TEL ( )	発 行 印	責任者印	担当者印
	発行日	年	月		日	

1. ご確認表

発注される品種名および提出いただくEPROM、またはフロッピーディスクを指定してください。

EPROMで発注される場合は1パターン当たりEPROMが3セット必要です。フロッピーディスクで発注される場合1パターン当たりフロッピーディスクが1枚必要になります。

EPROMの場合

当社では提出いただいた3セットのEPROMの内、少なくとも2セットの内容が同一であれば、この内容のデータによってマスク作成を行います。したがって、このデータと生産される製品に焼きつけられるROMデータが異なる場合のみ当社はその責を負います。提出いただくEPROMデータの内容については十分に確認をお願いします。

マイクロコンピュータ形名 M38513M4-XXXSP M38513M4-XXXFP

EPROMの全領域のチェックサムコード     (16進表示)

EPROMの種類

2 7 2 5 6	2 7 5 1 2
アドレス 0000 <sub>16</sub> 000F <sub>16</sub> 0010 <sub>16</sub> 407F <sub>16</sub> 4080 <sub>16</sub> 7FEF <sub>16</sub> 7FFE <sub>16</sub> 7FFF <sub>16</sub>	アドレス 0000 <sub>16</sub> 000F <sub>16</sub> 0010 <sub>16</sub> C07F <sub>16</sub> C080 <sub>16</sub> FFEF <sub>16</sub> FFFE <sub>16</sub> FFFF <sub>16</sub>
製品名 M38513M4- のASCIIコードを 入れる領域 (斜線領域) データ ROM(16K-130)バイト (斜線領域)	製品名 M38513M4- のASCIIコードを 入れる領域 (斜線領域) データ ROM(16K-130)バイト (斜線領域)

(ご注意)  
フロッピーディスクで提出される場合は  
左記の製品形名領域にはデータを入れない  
てください。

マイクロコンピュータのアドレス空間上、内部ROM領域としてC080<sub>16</sub> ~ FFFD<sub>16</sub>番地以外は使用することができません。なお、本製品のリセットベクトルはFFFC<sub>16</sub>、FFFD<sub>16</sub>番地(38000シリーズ共通)に格納します。

- 斜線部分には“FF<sub>16</sub>”を入れてください。
- 0000<sub>16</sub> ~ 000F<sub>16</sub>番地は製品形名のデータ格納領域です。  
‘M38513M4-’のASCIIコードを右記に示しますので、0000<sub>16</sub> ~ 000F<sub>16</sub>番地には必ず右記のデータを書き込んでください。  
番地、データとも16進表記です。

アドレス	
0000 <sub>16</sub>	' M ' = 4D <sub>16</sub>
0001 <sub>16</sub>	' 3 ' = 33 <sub>16</sub>
0002 <sub>16</sub>	' 8 ' = 38 <sub>16</sub>
0003 <sub>16</sub>	' 5 ' = 35 <sub>16</sub>
0004 <sub>16</sub>	' 1 ' = 31 <sub>16</sub>
0005 <sub>16</sub>	' 3 ' = 33 <sub>16</sub>
0006 <sub>16</sub>	' M ' = 4D <sub>16</sub>
0007 <sub>16</sub>	' 4 ' = 34 <sub>16</sub>

アドレス	
0008 <sub>16</sub>	' - ' = 2D <sub>16</sub>
0009 <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000A <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000B <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000C <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000D <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000E <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000F <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>

RJJ19B0832-0100

マスクROM番号

## ルネサスシングルチップ8ビットマイクロコンピュータ

M38513M4-XXXSP/FP

## マスク化確認書

アセンブラソースプログラムの先頭に、書き込むEPROMの種類別に下表に示す疑似命令を記述することにより、EPROMの0000<sub>16</sub>～0008<sub>16</sub>番地に形名のASCIIコードを書き込むことができますのでご利用ください。

EPROMの種類	27256	27512
ソースプログラムへの記述	*= \$8000 .BYTE ' M38513M4- '	*= \$0000 .BYTE ' M38513M4- '

(注) EPROMに書き込まれた形名とマスク化確認書の形名が一致しない場合、ROM処理ができませんので正確に形名記入をお願いします。

## フロッピーディスクの場合

当社では提出いただいたフロッピーディスクのファイルの内、マスクファイル生成ユーティリティで生成されたマスクファイル処理してマスク化を行います。したがって、このマスクファイルと生成される製品に焼きつけられるROMデータが異なる場合のみ当社はその責を負います。提出いただくマスクファイルの内容については十分に確認をお願いします。

フロッピーディスクは3.5"2HD/IBMformatで用意してください。また、フロッピーディスクに収めるマスクファイルは一つだけにしてください。

マイクロコンピュータ形名      M38513M4-XXXSP      M38513M4-XXXFP

ファイルコード              (16進表示)

マスクファイル名              .MSK(英数字8桁)

(ご注意) フロッピーディスクで提出される場合は、製品形名を入れないでください。

下記のROMデータ領域以外には、データを入れないでください。

ROMデータ領域・・・C080<sub>16</sub>～FFFD<sub>16</sub>番地

## 2. マーク指定

マーク指定はパッケージの形状により異なります。別紙のマーク指定書(パッケージ別)にご記入の上、本マスク化確認書に添付して提出ください。

M38513M4-XXXSPの場合は42P4Bの、M38513M4-XXXFPの場合は42P2Rのマーク指定書を提出ください。

RJJ19B0832-0100

マスクROM番号	
----------	--

ルネサスシングルチップ8ビットマイクロコンピュータ  
M38513M4-XXXSP/FP  
マスク化確認書

3. ご使用条件について

当社製品検査の参考とさせていただきますので、発注される製品の使用条件について質問します。

(1) X<sub>IN</sub>-X<sub>OUT</sub>発振回路は次のどの条件で使用されますか。

- |          |                   |
|----------|-------------------|
| セラミック共振子 | 水晶発振子             |
| 外部クロック入力 | その他(            ) |

また、その周波数は何MHzですか。

f(X<sub>IN</sub>) =  MHz

(2) P<sub>21</sub>/X<sub>CIN</sub> , P<sub>20</sub>/X<sub>COU</sub>T端子は次のどの条件で使用されますか。

- |   |   |
|---|---|
| P <sub>20</sub> , P <sub>21</sub> ポート機能 | X <sub>CIN</sub> -X <sub>COU</sub> T機能を選択(共振子外付け) |
|---|---|

(3) I<sup>2</sup>C-BUS機能またはSM-BUS機能を使用されますか。

- I<sup>2</sup>C-BUS機能を使用する
- SM-BUS機能を使用する
- 使用しない

4. 特記事項